

# 筑紫万葉のふるさと 太宰府

観光と史跡散策

現在の太宰府市には、1300年の昔、九州全体を治める「大宰府」という大きな役所が置かれ、500年の長い間、その役目を果たした。今もその歴史をしのばせる大宰府政厅跡・水城跡・大野城跡・觀世音寺・筑前国分寺跡・太宰府天満宮など、市内には数多くの名所旧跡が存在する。

## 1 太宰府天満宮

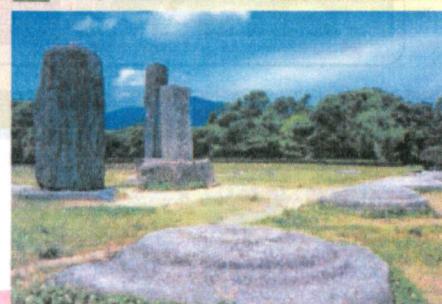


学問の神・菅原道真をまつる。901年右大臣から突然大宰府に流された道真は2年後、この地で亡くなった。その墓の上に建てられたのが天満宮で、現在の本殿（重要文化財）は1591年（天正19年）の建築である。

心字池の橋の傍らには室町時代の志賀社（重要文化財）があり、宝物殿には国宝や重要文化財の数々の宝物が納められている。

広い境内には梅・クス・花しょうぶなど四季折々美しく、正月のうそ替え・鬼すべ・春の曲水の宴、秋の神幸式など古い歴史をしのばせる祭がある。

## 3 大宰府政厅跡



「都府棲跡」の名で親しまれている大宰府政厅跡は九州全体を治める役所大宰府があった所である。7世紀の後半から奈良・平安時代を通じて九州を治め、わが国の西の守りとして防衛を、また外国との交渉の窓口として重要な役割を果してきた。現在も大宰府政厅跡の中心にはその大きさをしのばせる立派な礎石が残り、そこを中心に門や回廊、そして周辺の役所跡が復原され、公園となっている。

## 2 光明禅寺



天満宮の参道をのぼりつめ、右へ曲がるとつきあたりにこの寺がある。一般に首寺の名で親しまれているように、苔で陸を、白砂で大海を表現した庭と、石を配して「光」の字を書いた石庭、そして紅葉とシャクナゲの美しい寺である。

天神様と禪宗の教えが結びついた渡宋（唐）天神の伝承により、鎌倉時代に創建されたと伝えられる。

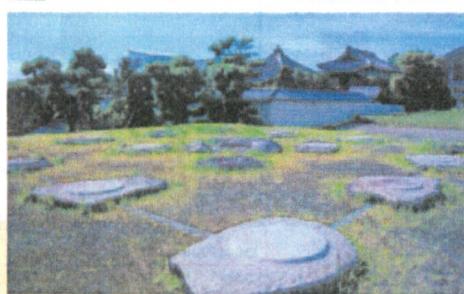
## 4 観世音寺



『源氏物語』にも登場する觀世音寺は、齊明天皇追悼のために天智天皇の発願によって建てられた寺であり、奈良時代に完成した。古くは九州の寺院の中心的存在で、たくさんのお堂が立ちならんでいた。現在は、江戸時代初めに再建された講堂と金堂（県指定文化財）の二堂が往時をしのばせる。また、日本最古の梵鐘（国宝）や、平安時代から鎌倉時代にかけての仏像（全て重要文化財）など数多くの文化財があり、クスの大樹に包まれた境内では、藤やアジサイ、萩などの草花が咲き、静かに季節が移る。

# ようこそ福太宰府へ

## 5 筑前国分寺跡



西日本最大級の国分寺跡

西日本最大級の国分寺跡

## 6 水城跡



### 「だざいふ」の表記について

歴史上の役所は大宰府、行政上の地名等については太宰府と書くことが慣用化されつつあります。本稿でもこれに従いました。  
例 大宰府政厅跡・大宰府天満宮・大宰府政厅跡など  
太・太宰府市・太宰府天満宮・太宰府駅など

西日本最大級の国分寺跡

西日本最大級の国分寺跡

市の北西、四王寺山のふもとにある。奈良時代、聖武天皇は全國に国分寺・国分尼寺を建て、その中心として奈良の都に東大寺を建てて大仏をつくり、仏に守られた豊かな国をつくろうとした。

筑前国分寺もその一つで、現在は、塔跡の見事な礎石と、講堂跡、そして金堂跡に建てられたお堂の中の平安時代後期の伝業師如来（重要文化財）に昔をしのぶことができる。

尼寺はここから西300mの所といわれる。

博多方から来ると太宰府市に入つてもなく道路や線路を横切って木立に覆われた丘が続く。それが664年、唐と新羅の攻撃に備えて築かれた防衛施設水城である。

その規模は全長1.2km、基底部の幅80m、高さ10mを超え、すべて人の手で築いた人工の土壘（土の堤防）である。そして名のとおり海側（博多側）に幅60m、深さ4mの堀を造り、水を貯えた。

春日市、大野城市にも小規模な水城が残っている。

## 7 大野城跡(四王寺山)



## 8 戒壇院



## 10 太宰府館

## 11 九州国立博物館

「太宰府観光」の情報収集のはか、梅ヶ枝餅焼きや木うその絵付等の体験（有料・要予約）ができる。また200名収容のホールや休憩スペース等がある。◎水曜日休館

## 12 九州国立博物館

古来より交流の窓口であった九州の地に「日本文化の形成をアジア的視点から捉える」という新しい視点を持ち、東京、京都、奈良に次ぐ全国で4番目に誕生した国立博物館。見て、聞いて、触ることのできる「生きている博物館」である。◎月曜日休館

◆太宰府のめやけ  
太宰府天満宮境内や  
参道の店舗で売られ  
ている「梅ヶ枝餅」、幸運  
を呼ぶ神島「うその民  
張木「木うそ」が有名。

### ◆太宰府の祭り

1月7日 —— うそ替え・鬼すべ（太宰府天満宮）  
3月第1日曜 —— 曲水の宴（太宰府天満宮）  
4月中旬 —— 締詰び大祭（福門神社）

5月下旬 —— 蕎麦たき（福門神社）

7月24・25日 —— 館まつり（太宰府天満宮）

9月20・21日 —— 神幸式大祭（太宰府天満宮）

10月上旬 —— 秋祭祭（太宰府天満宮）

# 筑紫万葉のふるさと 太宰府

観光と史跡散策



このまほろば号で太宰府のはとんどの公共施設や観光名所、旧跡に行くことができます。さらに観光用に「1日フリー乗車券」を使うととってもお値打ち!この「1日フリー乗車券」を提示するだけで、下記の施設の人気割が割引になる特典もついています。

(太宰府天満宮宝物殿、骨公御史庫、觀世音寺宝庫(収蔵庫)、だざいふ遊園地)

まほろば号路線(主なバス停)

[小学生以上 全区間:100円 1日フリー乗車券:300円]



にして時刻表



<凡て>

まほろば号路線  
(主なバス停)

観光モデルコース  
(歴史の散歩)

九州自然歩道



太宰府への交通案内



太宰府へのアクセスも「より楽しく、より便利」になりました。

太宰府観光列車「旅人」

列車に乗ったら、そこが太宰府。

そんな列車を目指しました。

太宰府の観光スポットを日本画風に描いた外観と、周辺を織う和文様でデザインされた内装が特徴的で楽しい、見て楽しい新たな太宰府名物です。

時刻表はこちる▶

お問い合わせ/00570-00-1010(西鉄おふざまセンター)

太宰府ライナーバス「旅人」

JR博多駅から太宰府駅まで乗車料金不要で太宰府へお越しいただけます。

JR博多駅や福岡空港から東リムズ不要で太宰府へお越しいただけます。

JR博多駅や福岡空港から東リムズ不要で太宰府へお越しいただけます。

JR博多駅や福岡空港から東リムズ不要で太宰府へお越しいただけます。

JR博多駅や福岡空港から東リムズ不要で太宰府へお越しいただけます。

JR博多駅や福岡空港から東リムズ不要で太宰府へお越しいただけます。

JR博多駅や福岡空港から東リムズ不要で太宰府へお越しいただけます。

主な観光コース(時間は徒歩)

